

6/
26~30

城辺・御荘中学校3年生作成職場体験学習特別企画 役場のお仕事、体験しました

6月26日(月)~30日(金)までの5日間、町内の各事業所で城辺・御荘中学校の3年生が職場体験を行いました。役場では、城辺中学校から3人、御荘中学校から1人が業務を体験しました。

~5日間の主な体験スケジュール~

- 【1日目】マラニックコース測定、認知症サポーター養成講座
- 【2日目】オレンジカフェ「ロバさん家」、防災行政無線放送業務
- 【3日目】広報等文書仕分け作業
- 【4日目】ふるさと納税業者訪問、防災行政無線放送業務
- 【5日目】広報等文書の地区配布業務

このほかにも、
総合案内業務や郵便物の仕分け作業なども体験しました。



職場体験の様子



マラニックコース測定

実際のマラニックのコース2kmを走って、1kmと2km地点の場所を確認しました。走るのは大変でしたが、コース計測をやり遂げることができたのでとても良い経験でした。



オレンジカフェ「ロバさん家」

高齢者の方との接し方を意識して、自分自身も楽しみながらたくさんの人と歌ったり話したりしました。オレンジカフェ「ロバさん家」は、みんなが笑顔で思いやりのあるとても温かい場所でした。



ふるさと納税業者訪問

武久海産では返礼品の魚の加工などをされていて、とてもありがたいなと思いました。ふるさと納税にはたくさんの方が関わっていることを知る事ができる貴重な経験でした。



広報等文書仕分け作業

作業は難しいものではありませんでしたが、長く続ける根気のいる仕事でした。広報が自分たちの手に渡るまでに、たくさんの方が力を注いでくださっているんだと知ることができました。

この記事は、4人が原稿を制作しました。



7/6

一中レジェンド交流会開催 一本松中学校生徒が考古学を学ぶ



▲石器の切れ味を試す実験で、魚をさばく多田さんと真剣に観察する生徒たち

一本松地域で活躍する人たちと交流し、その活動を学びに生かすことを目的とした「一中レジェンド交流会」が開催されました。今年度第1回目は、町文化財保護審議会委員の多田仁さんが講師となり、考古学についての講話が行われました。

講話では、資料による解説だけでなく、実際に石器を使った実験なども行われ、生徒たちは真剣に聞き入っていました。

講話の最後、多田さんは「歴史を知るということは、現在の社会がどのように成り立ったのかを知ることであり、現在の豊かな生活と平和の根拠を知ることであります」と述べ、未来の社会を担う生徒たちに、歴史を学ぶ大切さを伝えていました。

7/20

長年にわたる農業活動で地域に貢献 木下政良さんが愛媛県農産園芸功労知事表彰を受賞



▲表彰状を手に長年の農家人生を思い返す木下さん

長年にわたり農業を営む御荘菊川の木下政良さんが、町のブロッコリー産地化に向けて熱心に取り組む姿勢が高く評価され、愛媛県農産園芸功労知事表彰を受賞しました。

水稲・柑橘・露地野菜と幅広い営農を展開している木下さんは、中でもブロッコリーの作付面積を250aまで拡大し、農作業の効率化を図るために地域内でもいち早く機械化を進めてきました。後輩農家への技術指導や情報共有も重要と考える木下さんは、「地域全体が農業を通じて活気づき、更なる産地の強化につながるよう農家同士の連携をこれからも大切にしていきたい」と話し、今後も現在の作付面積を維持し産地の発展に貢献することへの高い意欲を見せました。

7/20

灯台監視協力で海の安全を見守る 春の叙勲受章者・松本明義さんを取材



▲東京に赴き受け取ってきた表彰状および勲章は、大事に飾ってあると語る松本さん

柏崎で渡船業を営む松本明義さんが、長年にわたり小貝瀬灯台の灯火監視に携わり、海上保安活動に協力してきた実績が認められ、瑞宝単光章（海上保安功労）を受章しました。

自らも現役で船に乗り続け、40年以上にわたって灯台と地元の海を見守ってきた松本さんは、「台風や大風の後など、ちゃんと明かりがついているかどうかを確認して報告してきました。今まで大きなトラブルは起きていませんが、灯台は海を行く船にとって、自分たちの位置や陸の方向を知る大事な存在です。これからも自分が元気でいる限りは、見守り続けていきたいと思います」と、温かな眼差しで語りました。

内海地域小学校2校で特別授業～希少野生植物「ミズキンバイ」について学ぶ～

7月12日(水)、柏小学校・家串小学校の2校で、県内では愛南町のみで自生する希少な植物「ミズキンバイ」について特別授業が開催されました。

愛媛県生物多様性センターの職員から、ミズキンバイの生育には水が欠かせないことや採取・損傷等が禁止されていることなど、詳しい説明を聞いた児童たちは、貴重な植物について実物を見ながら真剣に学んでいました。

また、両校では同センターが行う生息域外保全試験として校庭の池などにミズキンバイを浮かべ、黄色い花の開花を心待ちに管理をしていきます。



愛媛
CATV
動画



▲開花したミズキンバイ

池沼などに群生する抽水性の多年草。

花期は6月～9月で、直径2～3cmの黄色い花を咲かせます。本州や四国、九州に分布しますが、県内で見られるのは愛南町のみ。2019年に愛媛県特定希少野生動植物に指定されました。



地域おこし協力隊 活動日記

「傷だらけの仔羊」

こんにちは、地域おこし協力隊の和氣邦夫くにわです。早いですね、愛南町に着任して1年が過ぎました。愛南町の夏、秋、冬、春を肌で感じる事ができたと思います。今年は2年目の地域おこし協力隊の活動として愛南町青果市場の収益改善、青果市場の外販部門の拡充、地産地消の推進を目標に掲げてましたが、あまりにも大きな目標なんで、何か身近で具体的な将来に関係するものはないかと考えていたらありました。

3年前から2回チャレンジして不合格の「柑橘ソムリエ」の検定試験、これが最後と思ひ挑戦しました。皆さんは「柑橘ソムリエ」とは何ぞなと思われたでしょう。簡単に説明しますと、「目利き」食べずに見ただ目から美味しい柑橘を見分ける力。「味覚」実際に食べて味を判断する力。「表現」柑橘の魅力を人に伝える力。3つの力を身につけた人の資格制度です。試験は、表現力とそれを言語化する能力のなさを痛感した5時間でした。

結果はボーダーライン本当にぎりぎり合格しましたが、試験前に転倒して作った足の傷が、久しぶりのお勉強と睡眠不足、集中して脳細胞をフル活用したことで免疫力が著しく低下し、左足が1.5倍に腫れ



上がり2カ月間足を引きずり、4カ月経っても完治していません。それでも良いこともあり試験の最終日には愛南ゴールドを持ち込み受験生にお土産として配布し知ってもらい。講座で知り合った方々から、試験後愛南ゴールドの注文や取り引きをしていただき、3トンを超える取り引きが成立しました。

それと今年から青果市場前の土手を歩くお遍路さんに愛南ゴールドのお接待をしています。なんと遍路道を歩く8割の方が外国の方でびっくりです。見かけると追いかけて行って「どうぞ食べてください」と渡すだけですが通じ合うものがあります。お接待した後は気持ちが良いものですよ。

最後に、愛南町の皆さん無理は禁物、何事も計画的に健康に過ごしましょう。